

英語5技能教育特別部会(西日本エリア) 実施案内

一般財団法人日本私学教育研究所 主催／日本私立中学高等学校連合会 後援

国においては、グローバル化への対応の一環として、小・中・高等学校等を通じた抜本的な英語教育改革を推進しています。これを受け、大学入試の英語でも4技能の総合的な評価が拡大しており、各学校においてはこれらへの対応は喫緊の課題です。さらに、欧州評議会が作成した外国語学習者の言語能力を図る参照基準 CEFR では、学習者の自己評価においてコミュニケーションの形態を5技能に分類しています。

そこで当研究所では、私立学校の英語教育担当教員の指導力強化を図るため、5技能教育に係る特別研修事業を令和6年度に引き続き、西日本エリアと北日本エリアで実施致します。

◆ 会 期 ◆

令和7年5月8日(木)・9日(金)

◆ 会 場 ◆

5月8日(木)：**暁中学校・高等学校**

〒512-8538 三重県四日市市萱生町 238
(三岐鉄道「暁学園前」駅から徒歩約12分)

5月9日(金)：**都ホテル 四日市**

〒510-0075 三重県四日市市安島 1-3-38
(近鉄「近鉄四日市」駅から徒歩約3分)

◆ 募集人員 ◆

50名

◆ 参加費 ◆

20,000円(5/9昼食費1回分を含む。宿泊費別) ※宿泊は各自でご手配下さい。

◆ 参加対象 ◆

英語科教員 ※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

◆ プログラム ◆

学校視察

視察校 **暁中学校・高等学校**

英語授業視察/視察校紹介/視察校実践発表/研究協議

Workshop

テーマ **Boosting students' English proficiency through attention to vocabulary**

講師 **ブリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナー**

Learning vocabulary is often seen as a basic and boring activity. However, vocabulary is fundamental for language learning and underlies all five skills of reading, writing, listening, interactive speaking and spoken production. Building students' vocabulary is therefore a key task for teachers and learners. This session will look at the key issues involved in vocabulary learning and provide practical teaching ideas and techniques.

Aim: Participants better understand how to introduce and review new vocabulary so that students become more proficient language learners.

Participants will: •Understand the role of forgetting and retrieval

•Experience explicit, interactive vocabulary-related language activities as students

•Practice teaching vocabulary for reading, writing and speaking activities

◆ 日 程 ◆

時刻	11		12		13		14		15		16	
		30		20 40		20	10 20		10 20		20	
5月8日 (木)			受付	開 会 式	視察校 紹介 ①		授業視察 (5限)		視察校 実践発表 ②		研究協議 ①	
時刻	9	10	11	12	13	14	15	16				
		30		30	30		30	15				
5月9日 (金)	Workshop Session1 (90分)	Workshop Session2 (120分)			昼食	Workshop Session3 (120分)			研究 協議 ②	閉 会 式		



◆ 日 程 表 ◆

※日程・プログラム内容等は変更となる場合があります。

【1日目】 5月8日(木)

〔会場 暁中学校・高等学校 会議室〕

11:30-12:00	受 付〔オーロラホール〕
12:00-12:20	開会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 ◇開会 ◇主催者挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 ◇視察校代表挨拶 高木 達成 暁中学校・高等学校校長 ◇研修会運営方針説明 英語 5 技能教育特別委員長 ◇日程説明 ◇閉式
12:20-12:40	視察校紹介
12:40-13:00	視察校実践発表① 暁中学校・高等学校の英語教育について 暁中学校・高等学校英語科教諭
13:20-14:10	授業視察(5限) 中学2・3年生の英語授業視察 (1)2年生 TT (2)3年生 READER
14:20-15:10	視察校実践発表② 英語に関わる各コンテストや語学研修についての動画・説明 暁中学校・高等学校英語科教諭
15:20-16:20	研究協議① 参加者同士での意見交換、視察校教諭への質疑応答を行います コーディネーター 英語 5 技能教育特別委員

【2日目】 5月9日(金)

〔会場 都ホテル 四日市 3階 朝明の間〕

9:00-10:30	Workshop Session1 <English Refresher session for teachers> 講師 ブリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナー
10:30-12:30	Workshop Session2 <Teaching Vocabulary: Part 1> 講師 ブリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナー
12:30-13:30	昼食
13:30-15:30	Workshop Session3 <Teaching Vocabulary: Part 2> 講師 ブリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナー
15:30-16:00	研究協議② 講師を交えて意見交換を行います。 コーディネーター 英語 5 技能教育特別委員
16:00-16:15	閉会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 ◇開式 ◇総括・挨拶 英語 5 技能教育特別委員長 ◇閉会

◆ 参加者へのお願い ◆

当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等を HP・ブログや各種 SNS 等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させていただく場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので、予めご了承下さい。

視察校での写真撮影について、生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止とします。撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、参加者個人の SNS やインターネットサイトへのアップロードは禁止とします。また撮影写真の使用後は速やかに破棄いただきますようお願いいたします。また、動画（ビデオ撮影等）についてはすべて禁止とします。視察中は視察校の指示に従って行動して下さい。

◆ Workshop 概要 ◆ ※研修内容に多少の変更が生じる可能性があります。ご了承下さい。

テーマ Boosting students' English proficiency through attention to vocabulary	
5 月 9 日 (金)	
Session 1 9:00-10:30 (90 分)	English Refresher session for teachers Teachers will take part in an English proficiency lesson as learners. The lesson will revolve around a challenging listening text on a contemporary topic. Teachers will experience a lesson with the following features: •Taking both a top-down and bottom-up approach to listening comprehension •Scaffolding and checks for understanding •Focused, interactive discussions based on the topic •Note-taking techniques to keep track of key information in longer listening texts.
Session 2 10:30-12:30 (120 分)	•The importance of vocabulary •The roles of teacher and student •Introducing new words: sound, meaning and spelling •Teaching the meaning •Modelling the sound •Teaching the spelling
Session 3 13:30-15:30 (120 分)	•Teaching words in isolation •Glossing words in a text •Reviewing vocabulary through focused review tasks •Reviewing vocabulary through language activities •Consolidation
Discussion 15:30-16:00 (30 分)	Discussion (研究協議) Opportunity for participants to discuss topics raised over the course of the training.

◆ 講師プロフィール ◆ ブリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナー

ブリティッシュ・カウンシルは、過去 10 余年にわたり、日本の文部科学省や教育委員会等の教員研修の企画運営を担当し、英語教員研修トレーナーは全員 CELTA 及び DELTA 保持している (あるいは同等)。CELTA (Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages)、DELTA (Diploma in English Language Teaching to Adults)はいずれもケンブリッジ大学英語検定機構が授与する英語教授に関する国際資格。CELTA は、世界中にある TESOL/TEFL の資格の中でも、最も広く認められ高評価を受けており、知識・理論面と同様、実践面も重視。DELTA は英国の公的な資格・試験監査機構 Ofqual によってレベル 7 (大学院修士号と同等資格) として認定。

◆ 学校紹介 ◆ 学校法人暁学園<理事長 喜岡 渉> 暁中学校・高等学校<校長 高木達成>

暁学園は 1946 年、日本の戦後復興に必要なのは女性高等教育の振興による女性の社会的地位向上であるとの信念の下、当時業界で全国有数のシェアを誇った平田紡績株式会社社長の宗村佐信初代理事長が、私財を投じて自社敷地内に県下初の私立女子専門学校「暁女子専門学校」を開校したことに始まる。1948 年には暁小学校・暁中学校を開校、1949 年には暁高等学校を開校した。1950 年には同校を暁学園短期大学に改組、1983 年には中学校を中高一貫教育体制へ、1993 年には少子化を見据えて高等学校を女子校から男女共学制に移行するなど発展的改革を続け、幼稚園から大学まで全 6 校園を擁する県下唯一かつ最大級の総合学園として、来年、学園創立 80 周年を迎える。建学の精神「学園綱領<人間たれ>」は、後に奈良女子大学学長に就任した五嶋孝吉学園長が 1951 年に提唱し制定、学園教育理念の根幹となる深淵な人間哲学である。中等教育においては、高い学力の形成とともに論理的思考、判断力、表現力を培い課題を主体的に解決する資質を身につけることを目標とした教育を実践している。

英語教育においては、令和 5 年度中学 1 年生から、英語の全授業のメイン教材として世界で高い評価を受け、広く使用されている、ケンブリッジ大学出版の洋書教材「Uncover」を導入した。三重県で初、東海地方においても極めて先進的な取り組みで、近年、増加傾向にある帰国生にも手ごたえのある教材であることも採用の大きな理由となった。10 年後の日本と世界の未来を見据え、「本物の英語力」を求め、教育研究と進化を続けている。教育の特色の一つに、グローバルな視点を育てる機会としての留学制度・海外語学研修の充実がある。オーストラリア、ニュージーランドの 2 か国に提携姉妹校のネットワークを持ち、多くの生徒たちが海外での生活を体験し、言語力だけでなく、国際理解力を高めてきた。その後、海外大学に進学した事例もある。また、姉妹校からの訪問団の来校など、在校生が日本にしながら国際理解を深められる環境を大切にしている。

◆ 講師・発表者・指導員 (順不同) ◆

高 木 達 成 暁中学校・高等学校校長
吉 田 晋 富士見丘中学校・高等学校理事長・校長
平 方 邦 行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
ブリティッシュ・カウンシル英語教員研修トレーナー
暁中学校・高等学校英語科教諭
英語 5 技能教育特別委員

◆ 会場案内 ◆

【1日目：5月8日(金)】 暁中学校・高等学校

〒512-8538 三重県四日市市萱生町 238

三岐鉄道「暁学園前」駅から徒歩約 12 分

<https://www.akatsuki.ed.jp/akatsuki-jh/uniform/#commute>



暁中学校・高等学校 HP
(アクセス)

【2日目：5月9日(金)】 都ホテル 四日市

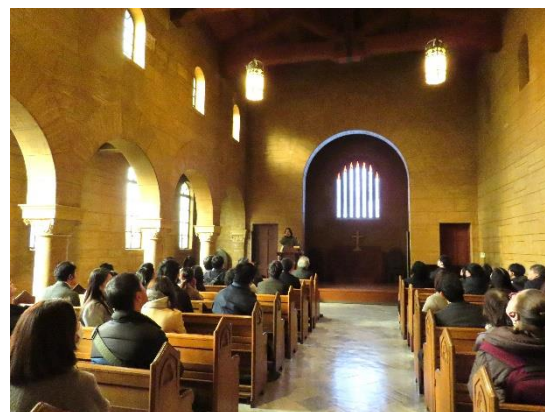
〒510-0075 三重県四日市市安島 1-3-38

近鉄「近鉄四日市駅」駅から徒歩約 3 分

<https://www.miyakohotels.ne.jp/yokkaichi/access/>



都ホテル 四日市 HP
(アクセス)



※写真は令和6年度英語5技能教育特別部会
(西日本エリア)の様子

◆ 参加申込方法 ◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先に記載のメールアドレス宛に添付(PDF)またはFAXでお送り下さい。

申込み先

一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当 宛

メール kenshukai@shigaku.or.jp (本申込書のPDFデータを添付の上、お送り下さい。)

※メールでお申込みの際は、「件名」に「英語西日本エリア申込」と記入して下さい。

FAX **03-3222-1683**

2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。
申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

申込締切日 4月21日(月) 必着

3. 申込受付後、「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」を所属校(法人)宛てに郵送します。
参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」で、指定されたコンビニエンスストアで以下の振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。研修会当日受付に「参加確認証」をご提示下さい。

参加費振込・キャンセル期限 4月23日(水)

4. 申込後2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。 (TEL 03-3222-1621)

◆ 変更・キャンセルについて ◆

必ずメールまたはFAXで日本私学教育研究所へご連絡下さい。

①変更の場合は、「参加確認証(再発行)」を郵送します。

②キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」をメールまたはFAXにて返信します。

※メールでのキャンセル連絡の際は、「件名」に「英語西日本エリアキャンセル」と記載して下さい。

4月23日(水)迄のご連絡	4月24日(木)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はありません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

◆ 個人情報の取扱いについて ◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用します。

◆ 傷害保険について ◆

当研修会期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

メール : kenshukai@shigaku.or.jp (本申込書の PDF を添付の上、お送り下さい。)

※メールでお申込みの際は、「件名」に「英語西日本エリア申込」と記入して下さい。

FAX : **03-3222-1683**

※FAX にてお申込みの際は送信前に FAX 番号をご確認下さい。0 (ゼロ) 発信の FAX 機で送る場合は「0」を押してから、FAX 番号を押して下さい。

令和 7 年度 全国私立中学高等学校 私立学校特別研修会 英語 5 技能教育特別部会 (西日本エリア) 参加申込書

記入日 : 令和 7 年 ____ 月 ____ 日

参 加 者 氏 名	(ふりがな)		職名(例 : 校長、教諭、講師)
学 校 (法 人) 名			
学 校 (法 人) 住 所	〒		
	TEL : FAX :		
※参加者本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。			
参 加 者 連 絡 先	携帯電話番号		
※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。			
メー ル ア ド レ ス			
※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。			
食物アレルギーの有無 該当する方に必ず○を付けて下さい。「有」の場合は、 参加確認証送付時に問診票をお送りしますので、FAX またはメール添付にて当研究所までご返報下さい。		有 ・ 無	
通信欄			
◇メールまたは FAX でお申込下さい。		受付No.	
◇複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお申込下さい。			